



「飯能市阿須山中土地有効活用事業」の中止と白紙撤回を求めます。

飯能市が所有する阿須山中の市有地（17 ha 東京ドーム 3.6 個分）は、もともと乱開発から加治丘陵の自然を守るため飯能市土地開発公社が先行取得しました。その後、県から低金利の融資を受け 20 億円で買い戻した市民の財産です。

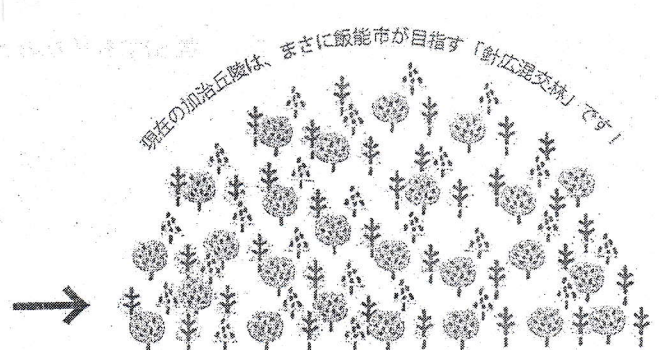
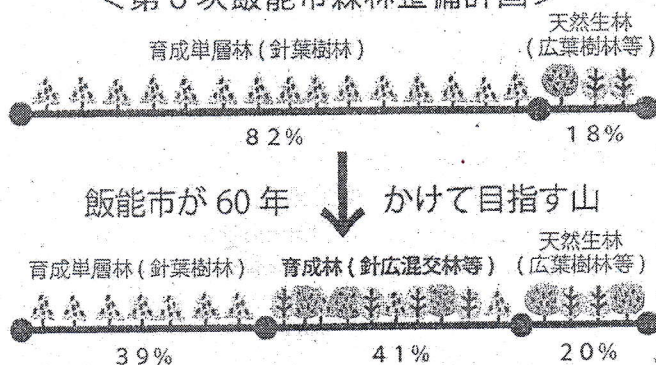
「トーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園」や「阿須運動公園」などに続く加治丘陵・阿須山中は、飯能市教育委員会が発行している「はんのうお宝スポット」で植物の宝庫と紹介されるほど四季折々の自然を楽しめる森です。この森の手入れをし、子どもたちが安心して遊べるよう定期的に整備している方たちや、その自然に魅せられ住まいを飯能に移された方たちがいるほどです。

いま飯能市は 60 年かけて針葉樹の山を、針葉樹、広葉樹の混ざった「針広混交林」に変えようと計画しています。加治丘陵はまさに「針広混交林」です。飯能市は、「土地有効活用事業」として事業計画を公募。選考メンバーも公表せず、議会にもはからず、ある事業計画を選定し、昨年末、土地整備計画を拙速に結びました。この貴重な里山を壊し、サッカー練習場（0.9ha）とメガソーラー（11ha）を作る計画で、賃貸料は僅か年間 120 万円。

山の北斜面に設置されるメガソーラー。上下水道も引けないサッカー場、大雨の時には、メガソーラー設置に必要な「調整池」になるサッカー場です。クラブ専用のサッカー場で一般市民は使えません。山を壊し、パネルを貼ることは、生態系に取り返しのつかない影響があります。

私たちは、この自然豊かな森を市民の財産として守り、子どもたちに手渡したいのです。どうか、署名にご協力ください。皆さんのお力をお貸しください。

＜第 6 次飯能市森林整備計画＞



やまなか
**「飯能市阿須山中土地有効活用事業」
の中止と白紙撤回を求めます**

「森林文化都市」飯能市が

「阿須山中」^{やまなか}(加治丘陵)にサッカー場とメガソーラー発電施設を造る計画を推進しています。

この土地は、自然保全のために市民の税金 20 億円を使って買い戻した飯能市民の財産です。

飯能市は市民に十分な説明もなく、一事業者のために年間 120 万円で 17ha の土地を貸すことを決めました。
直ちにこの事業の中止と白紙撤回を強く求めます。

氏名(本人自筆)	住所(都道府県からお書き下さい)

※住所が同じでも「同上」「点々」等は使わないでください。

※ご本人の承諾があれば、代筆可です。

※この署名は飯能市長、に提出する以外の目的には使用しません。